

平成29年度  
生徒会スローガン

# More Changes

## ～期待を背に今羽ばたけ～



発行所  
下伊那農業高等学校  
校友会新聞委員会  
長野県飯田市鼎名古熊2366-4  
電話 代表 飯田(22)5550番  
発行責任者 井原 菜々美

### 学協

◇販売品◇  
パン  
日用品・その他  
下農学協ご利用下さい



平成29年度 入学式



この春高校に入学しました。入学式の日も、とても緊張していました。でも、入学式がはじまったら緊張もだんだんほぐれてきて、これからの高校生活、勉強や班活動、友達関係すべてにこのことにわくわくしています。

### 入学式

1年C組 小林 真白

勉強では、新たに農業についても勉強をするので、一つ一つの知識を身につけていきたいです。資格もたくさんとれるように頑張っていきたいです。班活でも、いい成績を残せるように頑張りたいです。



### 入学式に思ったこと

1年D組 岡庭 蓮

下農の昇降口を入ると、「Boys be ambitious」という、大きな書があります。この言葉は、以前学校案内のパンフレットに書いてあった言葉だっただけで知っていました。この言葉の意味は、少年よ大志を抱けです。来賓の方々の話の中でも、「大きな夢を抱いてほしい」とか、「地域に貢献できるような人になってほしい」とか、異口同音に言葉がありました。

下農は、中学校に比べてとても大きい学校です。その学校で、僕の将来の夢をしっかりと見据えて、頑張っていきたいです。入学式が終わり、帰る時に、母

が「とても良い校歌だね」と言っていました。僕も、校歌の一節の、「土はわれらの命かな」という言葉が、とても印象深く残りました。



M君は、一本のヒットによって努力が報われたのかもしませんが、野球に限らず、一生懸命努力しても目標を達成することは難しいことです。むしろ目標を達成できないことの方が多々あります。しかし、仮

に目標が叶わなかったとしても、諦めずに挑戦し、努力し続けることが知らず知らずのうちに、将来の自分を支える力になっていくはずなんです。そのことを信じて、今日からまた次の一歩を踏みだそうではありませんか。



祝入学  
長野県下伊那農業高等学校

### 忘れられない一本のヒット

学校長 嶋崎 文男

面白いようにヒットを量産する選手がいます。その選手にとって何千本というヒットの裏には、言葉では言い尽くせない不断の努力があるに違いありません。

それは、私が教員に成りたての頃勤務していた学校のことです。赴任して二年目から野球部の監督を任されたのですが、そこには体にハンディキャップを持つM君が入部していました。彼は、小学校の時に交通事故に遭い、生死をさまよう大けがをしていました。そのため、腕が思うように動かず、走っても健康者のように回転よく足を運ぶことができませんでした。その上、左目を失明していました。片目を失っているというのは野球にとつて致命的なハンディキャップです。ボールのスピード感や距離感をつかむことができないからです。さらに、右目でボールを見るために、もともと右利きであったにもかかわらず左打ちを余儀なくされています。

あるのです。多分公式戦では唯一のヒットだったと思うのですが、三十年ほど経った今も、その時の光景を鮮明に覚えています。彼の打球は、ショートの後方にふらふらと上がった、いわゆるポテンヒットというものでした。お世辞にも痛烈で鮮やかなヒットと言えぬものではありませんでした。

たが、スピード感、距離感のつかめない左打ちの彼が努力の末に放った会心のヒットでした。彼の努力を知っていた私は、一塁ベース上でガッツポーズをする姿を見て、溢れる涙を止めた。彼にとって、あのヒットは、生涯忘れられることのない何物にも代えがたいものであったと思います。

# 一学年行事

## 研修旅行に行つて

1年B組 上田 慶次郎

私達一年B組は五月二十四日に愛知県の中部大学自動車専門学校の生徒のみならず、名鉄自動車専門学校に視学に行きました。中部大学では、それぞれの学科の特色を知ることができ、機械科だけでなく、文科系や理数系などたくさん分野があることを知ることができました。大学で、お昼を食べたりもして、半日だけ大学の生活を送ることができました。午後には、名鉄自動車専門学校に行きました。名鉄は中部大学とは違って自動車整備を専門とした学校なので、たくさん



## 研修を通して

1年C組 宮内 翔琉

五月二十四日の研修で僕達C組は信州大学農学部、トマトの木、田切農産を見学してきました。信州大学農学部では地域のトウガラシを研究している松島准教授の講義を受けました。内容は信大の色々な事と松島准教授が研究しているトウガラシについての物でした。トウガラシについて研究するほどの種であるのだろうか？と聞いていました



したが、思っていた倍以上に奥が深くおどろきました。昼食はトマトの木でバイキングでした。そんな時に普段の生活なら気づかないであろう事に気づきました。食べ物の前だと本性が出てしまうのでしょうか？田切農産では、少しだけ農

# 芸術鑑賞

## 芸術鑑賞

三年D組 今村 桃子

今回のミュージカルが、高校生活最後の芸術鑑賞でした。数日前にパンフレットが配られた時から、ずっと楽しみにしていました。人生で初めてのミュージカルだったので、まず迫力に驚きました。客席からでも一人一人のいきいきとした表情が見え、声色からも感情が伝わってきました。そして、印象に残ったシーンがあります。一つ目は、チューリップのシーンです。上の舞台で二人が語り合ったあと、下にスポットライトが移り、体が表現していました。私は花が咲く

今回のミュージカルが、高校生活最後の芸術鑑賞でした。数日前にパンフレットが配られた時から、ずっと楽しみにしていました。人生で初めてのミュージカルだったので、まず迫力に驚きました。客席からでも一人一人のいきいきとした表情が見え、声色からも感情が伝わってきました。そして、印象に残ったシーンがあります。一つ目は、チューリップのシーンです。上の舞台で二人が語り合ったあと、下にスポットライトが移り、体が表現していました。私は花が咲く

## 芸術鑑賞

二年D組 小林 理沙

芸術鑑賞で「げんない」というミュージカルを見ました。私は、ミュージカルというものを今まで見たことがなかったものでどんなものかとても楽しみにしていました。ミュージカルを見終えて一番印象深かったことは歌唱力と演技力のレベルの高さです。実際に生で聞く歌はとても迫力があって驚かされました。一人一人の音量と力強い歌声が物語とよく合っていたので見ていてとても楽しかったです。歌

たところもいいなと感じました。それと舞台セットのつくりにもおどろかされました。どのセットも工夫がされていてとてもすごかったです。特にライトの演出の工夫がされていて楽しめました。このお話を聞いて、夢はあきらめなければいつかは叶えることができるという事をあらためて感じさせられたので今自分にできることをやって将来にもつなげていくことができたいなと思います。自分のやりたいことはできるうちに好きだけやっておくことも大事な事なんだと知ることができました。こうやって、見ている人

# 山林実習

## 山から学んだこと

2年A組 牧内 深玖

私は、山林実習をやった大変で難しいことだと思いましたが、傾斜がきつい坂道を何十分も歩いて山を登りました。そして、作業の説明を聞いてから作業にうつりました。最初は文句を言いながらやっていましたが、徐々に



## 私の山林実習

2年D組 柴田 若奈

私は先日2学年の行事として、山林実習へ行きました。私の中の山林実習のイメージは、駒ヶ岳などの様な険しい山へ登山をして、頂上に木を植えるという感じでした。ですが本当は、竹の子掘りをするような森を切るのが山林実習でした。私はその前日まで熱を出していて、でも山林実習はずっと楽しみにしていたので行きたくかったので行きま



りました。作業中、先生が「学校の山だから誰かがやらなければならない」と言っているのを聞いて、それは山だけでなく、普段の生活でも通じるものが段々生活で感じることを見直せるきっかけになり、人任せにするのではなく、自ら進んで行動する大切さを実感しました。それも、農業高校だからこそ体験することができたと思います。貴重な体験ができて良かったです。

# 花いっぱい交流会

## 花いっぱい交流会について

三年D組 恩 田 峻 雅

今年度は四月十八日(火)、五月十九日(金)、六月十六日(金)の計三回行われました。花いっぱい交流会は平成五年より行われています。普段私達が草花などの授業で学んだ花づくりの技術で農業クラブ活動に活用できればと考え、飯田東中学校学友会と交流しながらリンゴ並木に花壇をつくることを計画しました。

第一回では、サルビアの播種を行いました。トレイに土を敷き詰め、あらかじめ掘っておいた溝に種をまいていく作業でしたが、サルビアの種が小さく、ピンセットで中々つかめず難しかったです。

第二回では、サルビアをポットへ移植する作業とマリーゴールドの播種を行いました。特にサルビアをポットへ移植する



作業は結構時間がかかる作業だと聞いていたので、時間内に終わられるか不安でしたが、東中の生徒の皆さんがしっかりと説明を聞いて、しかも手際がすごく良かったので時間内に終わることができました。

第三回では、第一回と二回で播種・ポット上げした花をリンゴ並木へ持つとき、飯田東中学校の全校生徒の皆さんと共に花壇へ定植することができました。

この活動を通じて、地元の農業高校として地域に貢献することができ、農業クラブの目標でもある「社会性を高める」事につながると思っています。



# 校友会入会式



# 球技大会

## 球技大会の感想

3年A組 服部 和磨

6月14・15日と3年間で最後の球技大会がありました。種目は一年生の頃と同様のサッカーをやりました。最後の球技大会がありまして、二試合やった中で、何点かは獲れるものの、全ての試合に負けてしまいました。後輩たちの4チームと



## 球技大会を振り返って

2年B組 田見隆也

六月十四日・十五日と球技大会がありました。今年が「楽しかった」「またやろうな」と言ってくれたので自分も嬉しかったです。みんなで本気になって戦えて楽しかったし、またクラスとの絆が深まったと思えたので本当にいいクラスマッチだったなと思いました。来年サッカーがあるかわかりませんが、どの競技になっても本気でやり、本気で楽しむことを忘れずにしたいです。

やりました。3年生になってから、体育の授業がC組とA・D組と分かれてしまっていて3ACDのチーム全体で練習することはなかったけど、とても楽しむことができました。上位へ進むことができなかったものの、3Bのチームが優勝をしてくれてとても嬉しかったです。3Aとしてのチームでもいくつか表彰を受けていたのでとても良かったです。



# 農の各種県大会

## 農業クラブ県大会を終えて

3年C組 伊藤 優希

私達果樹班は県大会に出した。今回の発表は3年生場し、最優秀賞を受賞しました。は私一人で2年生が主体の



発表でした。そういった中で最優秀賞という賞を受賞できたのは、発表の中心となった2年生のがんばりの結果だと思えます。発表当日、緊張している中であっても日々の練習の成果を発揮し、最高の発表をしてくれたと思います。そして結果発表の時、下農の名前が呼ばれたときの喜びは今でも鮮明に覚えています。発表者、補助者共に本気よくがんばってくれたと思う一方で私はその2年生達に何ができたのか、3年生として支えることができたのか、自分自身でもわかりません。今はただ、3年間自分が続けてきた果樹班としての活動で結果を出すことができたことへの喜びと皆さんの感謝の気持ちでいっぱいです。発表の場に立ってくれた2年生の職員、研究・発表の指導をしてくださった顧問の北原先生をはじめ多くの先生方、多くの方々への感謝の気持ちを持ってこの先の活動へと取り組みたいと思います。

## 県大会に出場して

3年A組 林 ひなの

私は、今年行われた学校農業クラブ県大会意見発表分野Ⅲ類に出場しました。意見文を発表する立場になってみて、三つのことを学びました。それは、文章力と発表する時の話し方、対応する力です。これを学んだことにより、成長することができたので良かったです。当日は、他の学校の人もたくさん学校ごとに違う取り組みをしていて感心しました。とても緊張しましたが、何回も練習をしたおかげでスラスラと発表することができました。その後の審査員の方々からの質問にも戸惑うことなく応えることができて良かったです。結果は最優秀賞でした。毎日の練習の成果が結果につながって良かったです。これまで意見文作りから質問の対応、発表の態度に至るまで細かく指導して下さいました先生に感謝したいです。

# 5月の風

一学期には、入学式をはじめ様々な行事がありました。みんな一つ一つの行事を時には楽しみ、時には大切なことが学べていたと思います。

いきなり原稿依頼をした時もありましたが、期日までに書いてくれて助かりました。みなさんご協力ありがとうございました。ごさいました。(新聞委員長 井原菜々美)